

感動とチャレンジ精神を地域に広げるPTA活動

～地域とともにいのちを育み、生き方を学ぶ～

周北小学校 PTA

1 学校地域の概要

PTA会長	藤井伸昭
校長	富田佳子
児童数	9名
会員数	21名（保護者14 教職員7）
所在地	〒742-0422 岩国市周東町瀬越 2161 番地 TEL & FAX 0827-86-0212



(1) 校区の概要

本校の校区は、岩国市周東町の北部に位置し、島田川水系、東川沿いに分散する瀬越と、根笠川上流沿いに分散する三瀬川、南部高地の檜余地地区の3つからなる。学校統合以前は、この3地区にそれぞれ小学校があり、単独の小学校として経営されていた。過疎化による急激な人口減が、児童減を招き、学校も1校に統合せざるを得ない状況となった。檜余地地区を除いては、平地が少なく、全体的に小規模の農林業が営まれている。唯一の大きな産業としては、学校に隣接する酒造会社があげられる。

近年、周辺都市へ働きに出る人も多く、荒れた農地や廃屋が目立ち、過疎化・高齢化現象が著しくなってきた。70歳以上の住民がおよそ半数を占める。平成29年1月1日現在の校区の世帯数は194世帯、人口349人で年々減少傾向である。

しかし、地域住民の文化的志向の意欲は非常に旺盛で、川越公民館を中心に、社会教育活動や村おこし活動が盛んである。地域の人々は、礼儀正しく人情豊かでよく協力し、地域の活性化に向け努力を惜しまない姿が見られる。また、近年IJUターン者を募っており実績もあげている。

3校を統合した本校は、広い校区を持ち、児童全員がスクールバスで登校している。学校のもつ教育力が地域社会に及ぼす影響も大きく、地域住民と一体となった教育活動が地区の活性化にもつながっている。

留学里親制度については、8年度末に4期生が卒業した後、該当者がなく、平成16年度に廃止された。

P T A活動は盛んで、全家庭あげて学校に協力的である。地元出身者の保護者が他地域からの転入者を温かく受け入れ、行事の際には全家庭が参加している。また、平成23年より地域のボランティアの協力を得て、放課後子ども教室スマイルキッズを立ち上げ、公民館の支援を得ながら運営している。

(2) 児童の実態

平成28年4月1日現在、児童数9名(男4名・女5名)、家庭数7戸の小規模校で、第1・2学年、第3・4学年、第5・6学年の3学級編制である。

児童の全体的な傾向として次のようなことがあげられる。

◇性格は、明朗純朴で人なつこく素直である。与えられた課題に真摯に向き合い、指示されたことはよくこなす。自ら課題を見つけ進んで取り組むという積極性は乏しい。

◇互いに仲がよく、学校全体が家族的な雰囲気、上級生が下級生の面倒をよく見る。

◇学習面では、個別に行き届いた指導を受け、漢字や計算等の基礎学力や知識・理解力は優れている。少人数のため、集団で思考したり、討議したりという面での経験が十分ではない。

◇健康で活動的であり、外での遊びを好む反面、全員スクールバスで登校し、放課後遊びに出かけることも少ないため、運動量が不足しがちである。一人ひとりに歩数計を持たせ、体力づくりを推進している。

2 研究テーマについて

感動とチャレンジ精神を地域に広げる P T A活動 ～地域とともにいのちを育み、生き方を学ぶ～

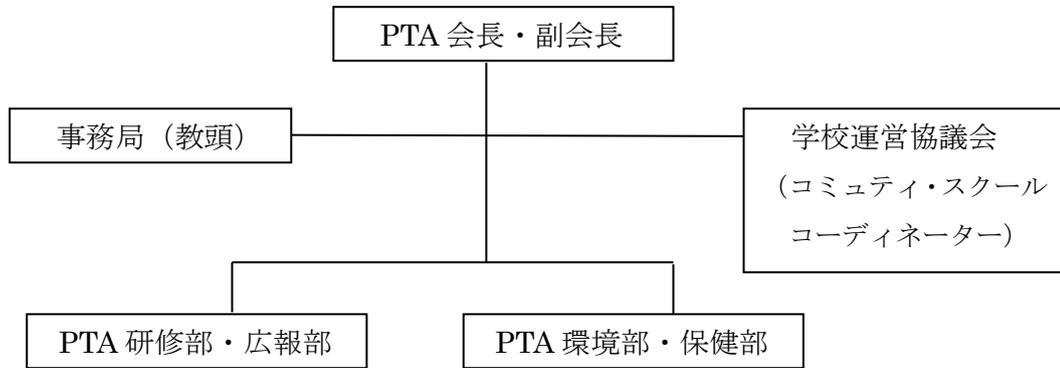
本校は、「ふるさとを愛し、豊かな人間性とたくましく生き抜く力をもつ周北っ子の育成」を学校教育目標とし、活動や体験をとおして学び、伝い合える子どもの育成を目指している。

また、平成27年度よりコミュニティ・スクールとしての歩みを始めたことを機に、「子どもの元気は、地域の元気」を合い言葉に、P T A総出で地域と連携し、様々な取組を行ってきた。地域の方々の献身的な愛情に支えられ、感動的な行事を体験してきたが、子どもたちの取組は受け身になりがちである。

そこで、P T Aと地域が一体となって、「子どもたちが主体的に活動し、感動とチャレンジ精神で地域を活性化する」ことのできる教育活動を支援すべく、本テーマを設定した。また、地域の方々の多くは農業を生きがいとしておられ、子どもたちは栽培・生産活動をとおして学ぶことが多く、「地域とともにいのちを育み、生き方

を学ぶ」ことをサブテーマとした。

3 P T A組織図



4 活動内容

(1) 地域交流行事・地域貢献

周北小学校区大運動会 (6月5日)

周東川越公民館、体育文化振興会、長寿会のご協力をいただき、まさに、地域を挙げて周北小学校区大運動会が開催された。

卒業生の中学生・高校生も一輪車演技に参加するだけでなく、PTAと一緒に、役員として準備係や繰出し係の仕事を手伝った。

残念ながら今年度は、雨天により体育館での実施となったが、児童たちは、練習の成果を発揮して演技を披露し、惜しみない拍手をいただくことができた。また、大玉転がしや玉入れ、綱引きなど一緒に競技することにより、地域のパワーを結集し、感動的な運動会となった。

心を一つにがんばった児童の一輪車演技



久々でも息ぴったりの中高生の演技



学校、PTA、地域とまさに一体となった演技



親子奉仕作業（8月21日）

気持ちよく2学期を迎えられるようにと、夏休みの終わりには、中高生を含む地域の方々とPTA、児童で運動場や花壇、植木等の整備を行った。例年以上の猛暑にもかかわらず、草取りぐらいはと手際よく作業して下さる女性陣、休日ならばと草刈り機持参で駆けつけてくださった男性陣と、多くの参加をいただき、深く感謝している。

なかには、地域を離れておられるにもかかわらず、今回も運動会前も校庭周辺の草刈りをかけて出てくださいました方もあり、学校に寄せる熱い思いを感じている。

慣れた手つきで作業が進む。ただただ感謝、感謝。



敬老会（9月17日）

本校では、毎年、公民館が中心となって催される敬老会の際に、川越公民館・三瀬川集会所・檜余地ふれあい会館の三か所を回り、子どもたちが作文や音楽の発表をしている。お年寄りの喜ぶ顔を見ることで子どもたちの自己肯定感も高まり、「子どもの元気は、地域の元気」につながっている。

P T Aも劇団を組織してダンスや寸劇を披露し、地域貢献に寄与している。

「虹♪」や「ふるさと♪」を熱唱



地域清掃（11月18日）

三瀬川から川越野活センターまで、そして、川越交流センターから学校まで地域の方々とP T A、児童でごみ拾いを行った。あき缶やたばこの吸い殻を拾いながら地域の方々と話したり、落ち葉やドングリも拾って秋の自然を肌で感じたりするよい機会となった。

「あった!」「あった!」と元気に ごみ拾い



ふれあい参観日（12月 3日）

ふれあい参観日は、日ごろお世話になっている地域の方々を笑顔でもてなそうと、PTA役員会で学校と話し合い、保護者総出で協力している。

まず、例年どおり9月29日に餅米の稲刈りを行った。刈り取った稲を自分たちで束ね、はぜ杭に掛け、子どもたちが主体的に活動する姿に檜余地地域の方々も感心されていた。

そして、2日前には、地域の農産物直売所で豆腐を販売しておられる方に支援していただき、豆腐作りを行った。害虫対策に追われ、決して豊作ではなかったが、今年も大豆の種まきから収穫、豆腐作りまで、子どもたちが主体的に行うことができた。収穫した大豆をうれしそうに手に抱え、できたての豆腐（おから）を試食する子どもたちは達成感に満ち溢れていた。

今年も豊作、餅つきできるぞ！



しっかり混ぜて…豆腐作り



ふれあい参観日当日は、地域の方々に手を添えていただき、力いっぱい餅つきをすることができた。餅を丸める地域の方々や子どもたちは満面の笑顔であった。地域の方に振る舞う豚汁は、豆腐・餅だけでなく、子どもたちが栽培したさつまいも・大根・白菜・人参、そして時を待つかのように出現した椎茸で賄われ、大鍋で調理するPTAの手にも力が入った。

6年生は 今年が最後と 気合十分！



餅をこねるのは 楽しいね～



さらに、地域人材を生かした、茶道・つる細工・昔の遊びの体験活動は、地域の方々を指導者として尊敬しながら、有意義なふれあいの場とすることができた。

9月の敬老会や川越地区の文化祭でのPTA広報活動が功を奏し、66名が一堂に会したふれあい参観日となった。

栽培した野菜たっぷりの豚汁です！



今年初めてチャレンジした苔玉作り



(2) 地域人材を生かした体験活動

茶道体験（7月6日）

PTAのコーディネートにより、ふれあい参観日に茶道体験をさせていただいている地域の方を高学年が訪問し、茶の湯について学ぶ機会を得た。

茶道の作法や抹茶を味わうだけでなく、日本の伝統文化として継承されてきた茶の湯について歴史的に学ぶことができた。

6年生はお茶をたててみました！



ふれあい参観日は地域の方々と一緒に



ささゆり観賞会（6月14日）

P T Aのコーディネートにより、子どもたちが放課後教室で描いた看板に案内され、地域に群生する「ささゆり」の鑑賞会に参加した。お抹茶と手作りのお菓子をいただきながら豊かな自然を満喫し、俳句に詠むことができた。作品は、公民館に展示され、地域の方々の目を楽しませている。

ささゆりもほくらも地域の宝 !?



ささゆりの香りは？



ぶどうの袋かけ体験（7月12日）

同じくP T Aのコーディネートにより、地域のぶどう農園で袋かけ、収穫体験をさせていただいた。

事前に講義に来ていただき、袋のかけ方だけでなく、栽培されているぶどうの種類について教えていただいた。品種によって性質が違い、それに応じて栽培を工夫されておられることがよく分かった。

また、定年退職を機に地元で何かと一念発起されて、ぶどうを栽培し始められたこと等、キャリア教育としても有意義な話を聞くことができた。

ぶどう収穫（9月2日）

そ〜っと袋をかけようね



夏休みの間に大きくおいしくな〜れ



大きいぶどう Get!



誰のぶどうが一番重いか…計量タイム



～地域おこし協力隊員さんをお迎えして～

今年度、周東支所地域振興課の事業により地域おこし協力隊員が着任され、川越公民館・PTAのコーディネートにより、栽培活動に協力していただいた。

1・2年はさつまいも栽培、3・4年は大豆・白菜・大根栽培、5・6年は学校のミニ田んぼでの稲作とそれぞれの子どもたちを支援していただいた。栽培法について教えていただくだけでなく、農業を生業とする生き方も学ぶことができた。

いも植え (5月31日)



収穫 (11月4日)



田植え (5月27日)



稲刈り (10月11日)



しめ縄作り（12月12日）

藁、裏白、ゆずり葉、橙等、地域の方々に材料を調達していただき、しめ縄作りを行った。地域の方々に手を添えていただいていた低学年に対し、高学年は、自分で縄をなうことにチャレンジする子どもが増えた。

P T A顧問を指導者として長年継承されてきた行事であるが、自然環境に恵まれていることや子どもたちのために山に入って材料を調達して下さる方がおられることに深く感謝したい。

縄をなうのは最初が難しいです。



一人で縄をなうことができました。



5 成果と課題

ふれあい参観日を核に、田植え・稲刈り、餅つき、収穫した大豆を用いた豆腐作り、野菜の収穫、地域人材を生かした体験活動まで、P T Aが地域と一体となって支援することができた。今年度は、特に、地域おこし協力隊員のご協力により、学校田を作って稲作を始めたり、苗の植え方からさつまいも栽培を学んだり、子どもたちが主体的に栽培・生産活動に取り組むことができた。子どもたちの栽培・生産活動を支援することをとおして、P T Aも自分たちの地域の産物に目を向け、豊かな自然に恵まれている「ふるさと」のよさを改めて実感することができた。

運動会、その他多くの体験活動とともに、子どもたちのチャレンジ精神は、地域の方々、P T Aにも感動を呼び起こし、「子どもの元気は、地域の元気」の合い言葉どおり、質の高い地域交流・地域貢献ができた。

今後とも、P T Aは、人材探しだけでなく、しっかり議論を交わし、行事のコーディネートに関わっていきたい。

そして、「地域とともにある学校」を支え、コミュニティ・スクールとしての歩みを確かなものにしていきたい。